



第 41 回 東名高速道路におけるタイヤ点検アンケート調査の結果報告

社団法人日本自動車タイヤ協会(会長 三野哲治)は、関係各位のご協力を得て、去る 7 月 24 日、東名高速道路・浜名湖サービスエリアに駐車中の自動車タイヤの点検並びにそのドライバーを対象としたアンケート調査を行いましたので、その結果をここに発表致します。

このタイヤ点検は、タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図ることを目的に、東名高速道路が全線開通した当初より毎年、この時期に実施しているものであり、今年で 41 回目となります。

当会が実施しているこの他のタイヤ点検の結果からもタイヤの日常点検・整備等が適正に行われていないことが窺えるため、今後も本点検をはじめとする様々な啓発活動の中でタイヤ適正使用・管理の重要性を訴求して参ります。



● タイヤ点検・アンケート調査の対象車種及び目的

項目	対象車種	目的
タイヤ点検	乗用車 大型バス トラック	タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図る。
アンケート調査	乗用車	タイヤ使用に関するドライバーの意識を調査し、正しい使用・管理方法を PR する。

● 後 援

経済産業省
国土交通省
社団法人 日本自動車工業会

● 協 力

中部運輸局
関東管区警察局 川崎高速道路管理室
静岡県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊
中日本高速道路株式会社 東京支社
社団法人 日本自動車連盟 中部本部

1. タイヤ点検結果の概要

今回、タイヤ点検を行った車両は乗用車 148 台、大型バス 40 台及びトラック 88 台の合計 276 台ですが、これら車両のタイヤ整備の概要は次の通りです。

1-1 タイヤ整備の「車種別」状況について

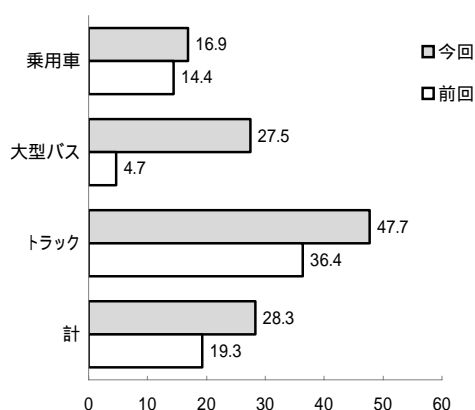
タイヤ点検を行った車両 276 台のタイヤ整備状況は表 - 1 の通りです。

表-1 タイヤ整備の「車種別」状況

車種	点検車両	タイヤ整備不良車両	不良率	増減	前回不良率
乗用車	148台	25台	16.9%	+ 2.5	14.4%
大型バス	40	11	27.5	+ 22.8	4.7
トラック	88	42	47.7	+ 11.3	36.4
計	276	78	28.3	+ 9	19.3

- 1) タイヤの整備不良車両は 276 台のうち 78 台であり、不良率は 28.3%になっています。
- 2) タイヤの整備状況を車種別にみると、不良率が一番高かったのはトラックで 47.7%、次いで大型バス 27.5%の順となっており、乗用車は 16.9%でした。
- 3) タイヤの整備状況について今回と前回は比べると、全体の不良率は 9.0 ポイント増加しています。(図 - 1 参照)

図 - 1 車種別・タイヤ整備不良率の比較



1 - 2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

タイヤの整備不良車両 78 台の「車種別・項目別(90 件)」内訳は表 - 2 の通りです。

表-2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

不良項目	乗用車		大型バス		トラック		計		増減	前回不良率
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)		
タイヤ溝不足	0	0.0%	4	10.0%	16	18.2%	20	7.2%	+ 1	6.2%
偏摩耗	4	2.7	8	20.0	26	29.5	38	13.8	+ 8.2	5.6
外傷	0	0.0	0	0.0	1	1.1	1	0.4	+ 0.1	0.3
釘・異物踏み	1	0.7	0	0.0	3	3.4	4	1.4	+ 0.7	0.7
空気圧不足	21	14.2					21	14.2	+ 2.1	12.1
その他	1	0.7	0	0.0	5	5.7	6	2.2	- 0.8	3.0
計	27		12		51		90			

注) 乗用車の空気圧点検は実測(ホット状態で計測)。

- 1) タイヤの整備不良を項目別に見ると、不良率 1 位は空気圧不足で 14.2%、次いで偏摩耗が 13.8%、タイヤ溝不足が 7.2%の順となっています。
- 2) 図 - 2 より、「空気圧不足」が 14.2% (前回対比 2.1 ポイント増加) でワースト 1 を示しています。次いで「偏摩耗」が 13.8% (前回対比 8.2 ポイント増加) を示し、この二つが他項目に比べ高い不良率になっています。

図 - 2 項目別・タイヤ整備不良率の比較

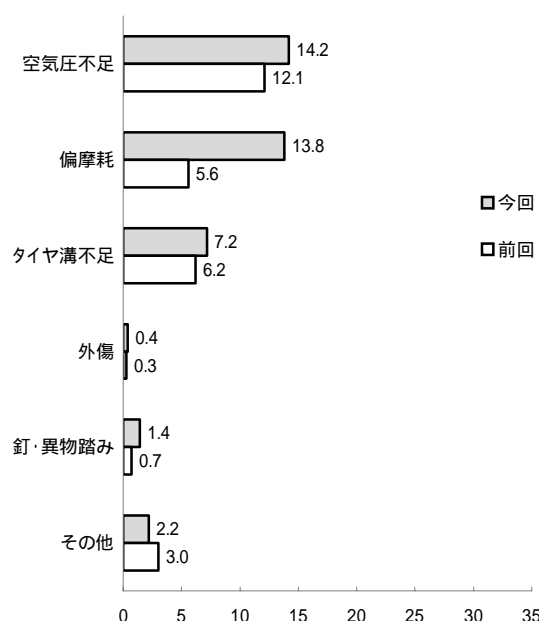


表 - 3 第41回 東名高速道路におけるタイヤ点検結果

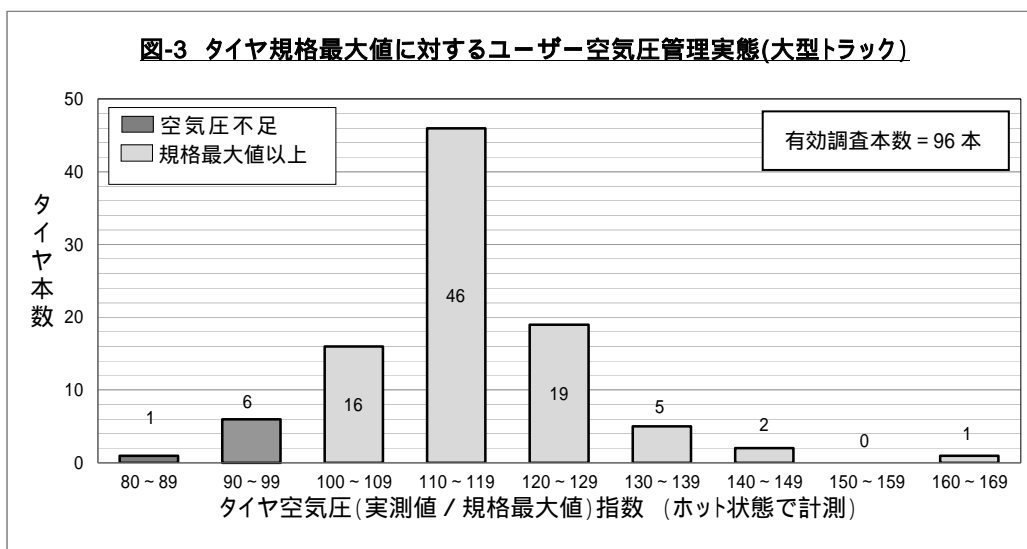
	前回(参考) 第40回(2008.7.25)				今回 第41回(2009.7.24)				増減
	乗用車	大型バス	トラック	計	乗用車	大型バス	トラック	計	
A. 点検車両(台)	174	43	88	305	148	40	88	276	
B. タイヤ整備不良車両(台)	25	2	32	59	25	11	42	78	
B/A. 不良率(%)	14.4	4.7	36.4	19.3	16.9	27.5	47.7	28.3	+9
タイヤ整備不良の内訳(件数)	溝不足	0	0	19 (21.6)	0	4 (10.0)	16 (18.2)	20 (7.2)	+1
	偏摩耗	1 (0.6)	2 (4.7)	14 (15.9)	4 (2.7)	8 (20.0)	26 (29.5)	38 (13.8)	+8.2
	外傷 (コードに達するもの)	0	0	1 (1.1)	0	0	1 (1.1)	1 (0.4)	+0.1
	釘・異物踏み	0	0	2 (2.3)	1 (0.7)	0	3 (3.4)	4 (1.4)	+0.7
	空気圧不足	21 (12.1)			21 (12.1)	21 (14.2)		21 (14.2)	+2.1
	その他	4 (2.3)	0	5 (5.7)	9 (3.0)	1 (0.7)	0	5 (5.7)	-0.8
	計	26	2	41	69	27	12	51	90

注) 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
 不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100
 なお、「タイヤ整備不良の内訳(件数)」の()は不良率を示す。
 乗用車の空気圧は実測(ホット状態で計測)。

1-3 トラック(積載4t以上)の空気圧について

大型車両に対する空気圧管理の啓発をより一層推進することを目的に、積載量4t以上のトラックに装着されているタイヤについて専門チームを設けて空気圧の実測を行いました。
 その結果は、以下の通りです。

- 1) トラック(積載4t以上)の空気圧点検を実施したところ、48台中4台に装着されたタイヤで空気圧不足の状態がありました。
- 2) 不良率は8.3%と前回(点検台数52台、空気圧不足車両3台、不良率5.8%)に比べ2.5ポイント増加しています。



2. アンケート調査結果の概要

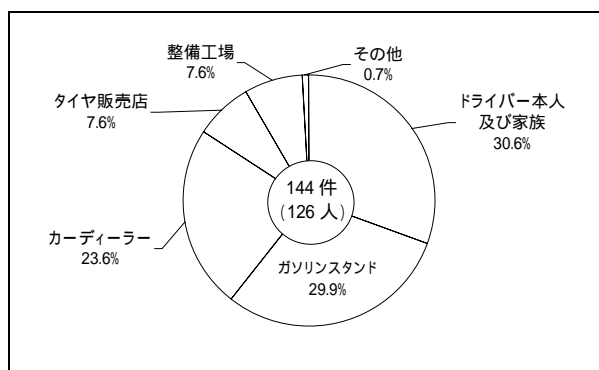
今回は、乗用車のドライバーにアンケートし、126 人に回答を戴きました。それぞれの質問に対する回答は次の通りです。

(グラフの中心に表示している数字は当該質問の有効回答者数です。)



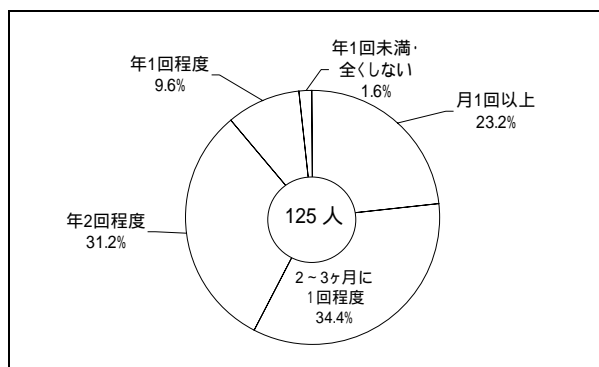
《乗用車》

Q1 主に誰がタイヤ点検を行いますか？(複数回答)



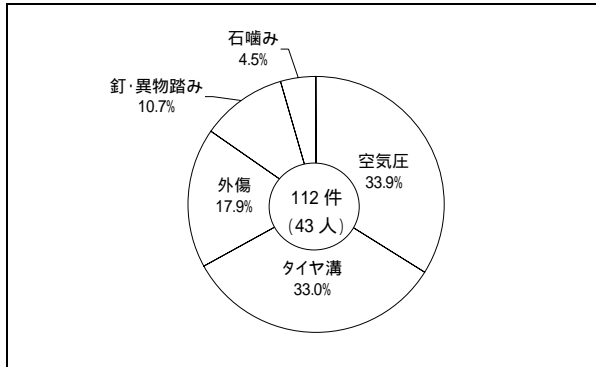
タイヤ点検を行う人については、「ドライバー本人及び家族」が44人(30.6%)で最も多く、次いで「ガソリンスタンド」が43人(29.9%)、「カーディーラー」が34人(23.6%)、「タイヤ販売店」、「整備工場」がそれぞれ11人(7.6%)となっています。

Q2 それはどの位の頻度で行いますか？



タイヤの日常点検の頻度については、「2~3ヶ月に1回程度」実施すると回答したドライバーが43人(34.4%)と最も多く、次いで「年2回程度」との回答が39人(31.2%)でした。「月1回以上」の点検実施者は29人(23.2%)で、4人に1人程度しかいないことが分かりました。

Q3 何を点検しましたか？(Q1で「ドライバー本人及び家族」と回答した場合のみ回答、複数回答)



実際の点検項目については、「空気圧」を点検するとの回答が38件(33.9%)、「タイヤ溝」37件(33.0%)で、合わせて7割弱を占めています。次いで「外傷」20件(17.9%)、「釘・異物踏み」12件(10.7%)、「石噛み」5件(4.5%)となっています。

本件に関するお問い合わせ

社団法人日本自動車タイヤ協会 技術環境部 柴田

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル8階

TEL:03-3435-9092